

開催日時	令和8年10月16日(金) 19時00分～20時40分
開催場所	Web会議
出席者	間瀬、木澤、小山、岩田、山本、山口、正木、井貫、藤、中谷、有吉、樋笠、水田、玉木、中村、森沢、西原、上野、岩井、小森、松本
欠席者	熊谷、桑山
記録者	松本
議題1	会長報告・行動録
【内容】	地域モデル事業・県議会等の動向 キュア神戸の活動を県内各地域に展開するモデル事業について、尼崎・中播磨で検討を継続している。10月27日に尼崎の医師会長へ相談予定。関係者への説明と地域連携体制の構築を進める。 県議会では、県立病院のリハ専門職の人材確保、切れ目のないリハビリテーションの地域モデル事業、マルチモビリティ研修等に関する質問が行われた。県の動向を注視し、要望を継続する。研修に関しては、県の積極的な姿勢が示された旨を報告した。 日本理学療法士協会の組織運営協議会について、関係資料を共有済み。2040年頃を見据えた公的保険領域の方向性、スポーツ分野で理学療法士として活動する意義、生涯学習・登録理学療法士の更新に関する情報を確認し、会員への周知を依頼した。 財務審議会は日程調整により11月開催となった。2027年度大目標案は意見交換ルーム等で意見を集め、財務審議会での検討を経て、11月理事会に審議事項として提出する。
議題2	審議事項: 令和8年度新人発表会における症例対象患者の家族の聴講について
項目	内容詳細 家族が理学療法に関わった症例の新人発表について、対象患者の家族から聴講希望があった。理学療法の効果や家族の関わりを知る機会として、個人情報と運営面に配慮した聴講の可否が提案された。 主な意見: 家族への経過説明は施設内で機会を設けて対応できる。専門職間の建設的な質疑でも家族が否定的に受け取る可能性があり、自由な討議に影響しかねない。会員を対象とする発表会での例外対応は、他の参加者との公平性や今後の同様の希望への対応も課題となる。
審議結果	新人発表会での家族の聴講は行わず、実施施設内で別途説明・症例発表の機会を設ける方向で検討する。施設に持ち帰り、指導者・担当者等と調整することとした。
議題3	協議事項1: 兵庫県理学療法士会大目標(案)2027について
項目	内容詳細 基本の大項目は継続し、生活期・外来・在宅を含むリハビリテーションの充実と地域連携、学校保健に関する部局の設置、登録理学療法士の更新支援、創立60周年記念式典・近畿学会の実施等を盛り込む案が示された。学校保健の組織化は予算面を含め継続検討する。 会費の適正性: 2026年度からの年会費8,500円について、2年間の実績を踏まえた再検討の時期を協議した。2028年度に検討し、変更する場合は2029年度総会に提案、2030年度から実施する案が示された。前倒しする場合の予算編成への影響もあり、時期・金額とも未決定。 収入確保: 研修会等の参加費の見直しを大目標に位置付ける意見があった。議論の対象は県士会員以外の参加料であり、会員から新たに受講料を徴収する趣旨ではないことを確認。受講者数や更新への影響を踏まえ、財務審議会で検討する。 会費減額の検証: 収支に加えて、若手・子育て世代等の受け止め方や会員の行動への影響も把握すべきとの意見があった。代議員理事連絡会等で聞き取りを行う意向を示した。 事務局機能: 人員配置・役割分担・業務量を整理し、書類提出先や問い合わせ窓口を分かりやすくする必要があったとの意見があった。財務審議会で現状を説明・検討し、具体的な課題や資料を意見交換ルームに共有する。
今後の対応	本案は今回議決しない。2027年度目標意見交換ルームで意見を募り、11月2日の財務審議会を経て修正案をまとめ、11月理事会で審議・決定する。
議題4	協議事項2: 各部議事録のホームページ掲載について
項目	内容詳細 経緯: 令和2年総会での情報開示に関する意見を受け、理事会で議事録の提出・公開方針を整備した。令和2年10月の作成要領では公開用議事録を必須とし、議題・結果を簡潔に記載し、本文の個人名は出さないこと等を定めた。令和5年には事務局でホームページ掲載する運用へ改定された旨の説明があった。 各部議事録を一律に掲載する運用は総会の直接の決議ではなく、理事会で定めたものであることを確認した。作成負担は、内部用と公開用の二重作成、Excelの入力・整形、公開範囲の判断等に分かれるとの意見があった。 改善案: 文字起こしからAIで要約する方法、作成済み議事録の個人名等をAIで調整する方法、罫線のない文書形式への変更等を検討する。AIによる処理後には人による内容確認が必要であり、公開範囲の基準も明確にする必要がある。 公開の意義: 閲覧回数を把握して有用性を検討すべきとの意見がある一方、閲覧数だけでなく、活動記録・説明責任・透明性の確保にも意義があるとの意見があった。議事録の作成自体は事業・会議実施の記録として必要であることを共有した。
今後の対応	今回、掲載廃止や新しい書式は決定しない。AI等に詳しい理事と協力し、次回までに負担軽減の作成方法案を整理する。必要な経費は事務局機能の充実と併せて予算面を検討する。 ホームページ内、議事録の閲覧状況を確認し、掲載が滞っている部・支部を点検する。担当理事へ提出・掲載を促す。作成要領の「1年程度で削除」と現在の掲載継続との相違も含め、運用を検討する。

議題5	報告事項:60周年記念式典の進捗
	開催計画:2028年2月19日(近畿理学療法学会の前身)、ポートピアホテルでの開催を予定。近畿ブロック会議後、14時から45分間の記念講演、90分間の式典、120分間の祝賀会を行う案が報告された。
	規模・費用:来賓等を含め約160名、参加費は基本無料を想定。浄財は1口3,000円とし、会員・病院・関係団体・企業等への依頼を検討する。記念講演はベテラン講師と若手との対話・シンポジウム形式も含め、次世代への継承を重視して企画する。
	祝賀会では次世代への継承、会員・関係団体との交流、県士会の魅力発信を重視する。記念誌はホームページで閲覧・ダウンロードできるデータ版を基本とし、来賓等への配布用として約160部の製本を検討する。
	担当理事に加え、部長・支部長級の運営委員の内諾を得て配置を進めている。10月中旬に各局の人選を進め、12～1月の予算提出に向けて企画と予算案を具体化する。
次回の予定	11月20日(金)理事会
今後の予定	11月2日(月)財務審議会